

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
こどもの世界 Children's world		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
高橋登美子	講義棟3階	火・水・木・金 9時から16時(授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
子どもを取り巻く世界は魅力がたくさんあります。その中で、子どもの周りに当たり前のようにある絵本やおもちゃ、生活の中で触れる季節の行事、廃材や身近な日用品という素材に焦点を当て、「豊かな心」を育むことにつながる過ごし方を考えます。				
授業の目標				
①「あそび」は子どもの生活そのものであることを、活動から実感することができるようにする。 ②子どもが育っていくための「環境」づくりは、身近な出来事の中にあふれていることを共感することができるようにする。 ③様々な活動の中で仲間と共に創意工夫する楽しさを知ることができるようにする。 ④行事の楽しみ方を探ることで、生活を豊かにする環境を作り出すことができるようにする。 ⑤「こどもの世界」は大人にとっても楽しい世界であることを、様々な視点から認識することができるようにする。				
授業の方法				
個人、またはグループで活動に取り組む。シラバスで提示された活動に関連して興味のある物に取り組む場合は、履修者間で協議して対応を決める。楽しむこと、発見すること、試すこと、失敗することなど、様々な体験を自然体で経験する。				
学習の成果(学習成果)				
①今まで気づけなかった身近な素材の魅力や活用方法、行事の持つ素晴らしい習慣、子どもを取り巻くおもちゃや絵本などに対して、発想豊かに生活に活かしていくことができる。 ②大人にとっても楽しい「こどもの世界」の特徴を述べることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(シラバスの説明と履修の注意事項確認、授業内容と準備するもの)			
第2回目	おはなしの世界と絵本の魅力① ～日本の昔話、紙芝居、絵本～			
第3回目	おはなしの世界と絵本の魅力② ～絵本の読み聞かせ～			
第4回目	身近な素材と素材の魅力と活用① ～生活の中にある素材の面白さを発見～			
第5回目	身近な素材と素材の魅力と活用② ～素材を生かした工夫と製作～			
第6回目	子どもの生活と行事の魅力① ～季節の行事を探る～			

第7回目	子どもの生活と行事の魅力② ～季節の行事を豊かにする環境づくり～	
第8回目	子どもの生活と行事の魅力③ ～季節の行事を豊かにする環境づくりと製作～	
第9回目	折り紙の魅力① ～発達段階に合わせた折り紙と、折り紙活動と脳との関係を探る～	
第10回目	折り紙の魅力② ～生活の中の折り紙あそびと、遊びとしての折り紙あそび～	
第11回目	折り紙の魅力③ ～空間を豊かに演出する折り紙製作～	
第12回目	おもちゃの魅力① ～子どもにとってのおもちゃとは？～	
第13回目	おもちゃの魅力② ～モンテッソーリ教具を知り触れる～	
第14回目	意見交換 ～「豊かな心」とはどのような活動から育まれるのか、「五感」の体験とは～	
第15回目	各自が感じる「こどもの世界」の口頭発表 ～担当講師からの論評～	
事前・事後学習	日頃から身近な素材に触れ、感動体験を増やす。活動を活かし、日常生活の中においても様々な魅力を発見してほしい。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	50%	必要な教材や材用の準備ができている。演習活動を楽しんでいる。他者の考えに共感したり興味や意見を持ったりする。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	50%	製作に時間がかかっても完成することができている。「こどもの世界」を自らの言葉で表現することができている。
その他		
教科書と参考図書		
教科書は無し。授業内で参考書籍を提示する。 図書館の活用を望む。		
履修上の留意点・ルール		
製作に必要な教材、材料、用具は各自が持参する。 使用教室の環境整備に努める（片付け、清掃など）。		